



東北大学加齢医学研究所との「テレマ×脳体操アプリ」のデータを活用した共同研究を実施 ～膨大なテレマデータを活用した事故低減・運転寿命の延伸を目指して～

2021年10月22日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三）は、国立大学法人東北大学加齢医学研究所（所長：川島隆太教授）と株式会社仙台放送（代表取締役社長：稲木 甲二）とともに、2019年12月に締結した連携協定に基づき、当社のテレマティクス^{※1}自動車保険（以下、「テレマ保険」）で取得したビッグデータを活用し、「運転技能向上トレーニング・アプリ（以下「脳体操アプリ」）^{※2}による危機回避能力向上・事故削減効果等の実証に向けた研究を11月から開始します。

- ※1 「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組みです。
- ※2 東北大学加齢医学研究所と仙台放送が産学連携により共同開発したトレーニング・アプリで、東北大学加齢医学研究所・川島隆太教授による脳科学研究の成果と仙台放送が開発・放送している脳のトレーニング番組『川島隆太教授のテレビいきいき脳体操』の知見から開発しました（特許6284171号）。実際の運転行為や疑似運転行為（シミュレーター等）を伴わない日常的な認知トレーニングにより、運転技能の維持・向上を目指すものです。

1. 背景・目的

日本国内において高齢社会の進展が続く中、高齢者の移手段の一つとして自動車の重要性はますます高まっています。こうした中、当社ではテレマ保険に加入しているお客さまに対して、保険料割引というインセンティブに加え、運転技能の維持・向上を促す脳体操アプリを提供し、誰もが安全・安心に生活できる地域づくりを目指してきました。

これまでにも、運転挙動保険料反映型テレマ保険^{※3}をご契約のお客さまが脳体操アプリを利用することで、速度超過・急アクセル・急ブレーキの発生頻度に基づき算出する安全運転スコアが向上し、運転寿命の延伸を支援するなど、地域の活性化に役立っていることが確認されています。

今般、当社の「お客さま・地域・社会とともに共通価値を創造し、様々な社会・地域課題解決に貢献していく」という「CSV×DX（シーエスバイ ディーエックス）」^{※4}の考え方と、東北大学加齢医学研究所の「健康運転寿命の延伸を目指す」という考えが合致したため、新たな商品・サービスの開発も視野に入れた共同での分析・検証を開始することとなりました。

※3 当社が取得した走行データに基づき、安全運転の度合いを保険料に反映する自動車保険

※4 CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタル技術を活用し、価値提供を変革させること）

<ご参考>テレマ保険×脳体操アプリの協業取組（脳体操アプリ利用別のスコア較差）

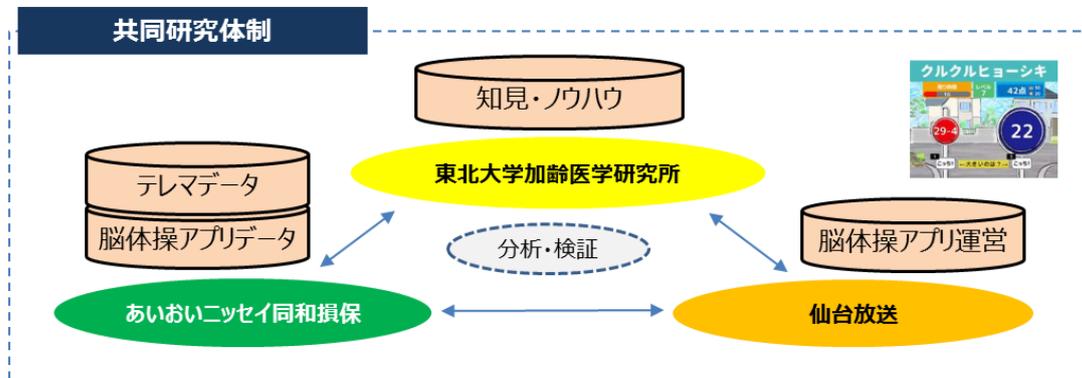
年代	安全運転スコア（平均）		較差
	利用：無	利用：有	
～20代	85.4	88.3	2.9
30代	86.8	88.9	2.2
40代	85.7	89.2	3.4
50代	84.5	87.7	3.2
60代	84.0	86.9	2.9
70代～	81.3	85.3	4.0

2. 共同研究の概要

脳体操アプリの利用効果と地球71万周分のテレマ保険の膨大な走行データ※5を活用し、危険挙動の発生回数の減少効果のみならず、事故の抑止につながる危険回避能力向上効果および事故低減効果等を多角的に実証し、「脳体操アプリの利用」と「各種事故低減効果」の因果関係を確立すべく共同で分析・検証を実施します。

また、分析・検証を通じて、お客さまごとにカスタマイズ可能な運転寿命の延伸効果を高める新たな商品・サービス等の開発検討も同時に実施していきます。

※5 2021年6月、当社調べ



3. 今後の展開

今後も、誰もが安全・安心に生活できる地域の活性化を目的として、「脳体操アプリ」の普及啓発に取り組んでいくとともに、国内で培ったノウハウ等を活用し、海外への展開も視野に入れていきます。

また、本研究での成果を通じて、社会・地域課題の解決に貢献すべく、テレマ保険の商品・サービスの進化にも繋げていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会・地域課題の解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」（シーエスブイ パイ ディーエックス）というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

